

ピクトグラム優秀作

特殊詐欺被害防止にひと役

島原署 高校生3人を表彰

特殊詐欺被害防止にひと役買ってもらうと、島原署が島原市内の高校3校に依頼して作成してもらったピクトグラム(絵文字)の表彰式がこのほど同署で行われ、優秀作に選ばれた3校の生徒3人に賞状などが贈られた。

ピクトグラムは、非常口のマークなど単純な絵だけで直感的に場所や動作などを理解してもらうもので、「絵単語」とも呼ばれる。同署では安全・安心なまわりの一環で、高齢者を狙った遺言金詐欺などに

と目を注意喚起につながるピクトグラムの作成を依頼した。高校生らは署から詐欺の手口などを学んで創作に励み、29点の力作から3点が選ばれた。優秀賞に選ばれたのは島原高2年の中山凛さん(17)、島原農高2年の五島

美友季(みゆきさん)16)、島原商高3年の水田亜優さん(18)。それぞれスマートフォンやATM(現金自動預払機)などを組み合わせた絵柄を描いた。

うち、中山さんは被害者の良心につけこむ悪意を表現しようと仮面をつけた犯人が電話でお金を要求するさまを描き、「息子や孫を養うなど手口は悪費。騙されないよう、怪しいと思ったら誰かに相談してほしい」と願いを込めた。

ピクトグラムはカレンダーに活用し、市民らに配布して被害防止に役立てる。宮下直樹署長が賞状などを手渡し、「高齢者が狙われる詐欺は依然としてあとを絶たない。市民への周知に広く活用し、一件でも被害を減らしたい」と述べた。

中山さん、五島さん、水田さん(左から順に)

